

門司松ヶ江病院の認知症デイケア

**介護保険サービスと併用できる
医療保険対応のデイケア**

門司松ヶ江病院の認知症デイケアが、平成18年4月1日に開設してから3年が経過しました。

認知症デイケアは、ものわずれがひどく、認知症であると診断された方に対して、心身機能を回復し、問題行動を改善して生活の援助を行い、通所によるご家族の介護負担を軽減することを目的としています。専門スタッフによるケアやリハビリテーション、楽しみながら一日を過

ごしていただけるレクリエーションプログラムを行っています。

開所は月曜日から土曜日の8時30分から15時で、ご自宅からの送迎サービスも行っていきます。

当院の認知症デイケアは、介護保険ではなく、医療保険による「重度認知症患者デイケア」のため、介護保険サービスと併用できます。要介護度が低いため充分なサービスが利用できない方や、訪問介護やショートステイなどを多く利用している方でも、利用限度額の超過を気にすることなく、在宅生活を支えるサビ

スのひとつとして取り入れていただくことができるのがメリットで、実際に多くの利用者が介護サービスと併用されています。

認知症の方に合わせて 工夫された活動プログラム

認知症の方を対象にしたデイケアとして、活動の内容にも工夫を凝らしてきました。

創作活動では、季節感を楽しむことも兼ねて、毎月のカレンダーや、ちぎり絵を製作しています。この活動は、指先を使って脳を活性化させること、仲間と一緒に制作することによる集団生活の協調性の獲得、一つの作品を完成させる喜びを感じることを目的としています。

完成した作品はホールに掲示します。それを見るときの利用者の表情は大変明るく、私たちスタッフもうれしい気持ちになります。

またボランティアの講師を招いて、月1回書道教室を行っています。利用者の取り組み方は、楽しそうに書かれる方、他の人の作品を見て楽しめる方、手が震えてしまうから文字を書くのは嫌だと言われる方などさまざまですが、墨の匂いがかいで、昔を懐しんでいただけ

でも、有意義な活動ではないかと考えて実施しています。

脳を活性化させる指先や手先の作業だけではなく、心身機能の維持と向上を目的に、高齢の方でも無理なく行える体操や、輪投げ、ボウリング・ゲートボールなどの運動も行っています。

身体を動かすことが苦手な方のストレス発散のために、カラオケなどの音楽活動も行っています。歌が好きでも一人でマイクを持つて歌うのは恥ずかしいという方には、「うたの会」で他の方と一緒に歌うことで、大きな声を出すことの爽快さを味わっていただいています。

利用者の希望や 季節の行事も取り入れた活動

認知症デイケアのプログラムについては、月1回の利用者アンケートにより希望する活動を伺い、可能な限り取り入れていくよう心がけています。

今後は、気候の良い時期には近くに散歩へ出かけたり、「野菜や植物を育てる園芸をしたい」「バスハイクに出かけたい」などの利用者の希望を取り入れた活動を計





画したいと考えています。

毎月のプログラムでは、クリスマスパーティーや節分の豆まきなどの季節の行事も実施しています。

またデイケア独自の行事だけではなく、お花見や盆踊りなどの病院が主催する行事にも参加しています。5月の開院祭や10月の運動会は、普段はデイケアが休みの日曜日に開催されるため、臨時に開所しています。

利用者の送迎には、大型、中型、小型の3台の送迎車を使っています。自宅の場所や希望の時間はまちまちで、車酔いなどのため、長時間の乗車が困難な利用者もいらつやいますので、利用者ご家族の要望をできる限り受け入れつつ、効率よく送迎できるよう配慮しています。もちろん運転には最善の注意を払



い、事故のない、安全な送迎を心がけています。

デイケアの利用で 安定した在宅生活を継続

認知症デイケアの利用により、安定した在宅生活を続けられているケースも見られるようになりました。

ある利用者の方は、認知症の症状が進行して自宅での生活が困難だと判断され、グループホームへの入居が決定していました。しかし週に6日認知症デイケアを利用し、定期的な診察と薬の処方を受けることにより症状が安定し、そのまま2年以上も在宅生活を継続しています。

また別の利用者のご家族からは「デイケアに通うまでは、夫婦の話はほとんどなく、自宅で介護することに苦痛さえ感じていました。しかしデイケアに行って二人でカラオケをしたり、自宅で次の日の活動の練習をしたりするなかで、自然と会話も増え、ゆとりを持って毎日の生活を送れるようになりました」という、うれしいお言葉をいただきました。



積極的な広報活動で 利用者の増加に取り組む

デイケアの運営についていえば、3年間でデイケアの登録人数は徐々に増加し、利用者も増える傾向にあります。しかし利用者は高齢で、認知症でもあるため、利用を予定されていても、体調不良や他の医療機関の受診、利用の拒否、ショートステイなど他のサービスの利用といった、さまざまな理由によりキャンセルされることもあります。なかなか予定通りの人数にならず、時にはかなり利用実績が減ってしまうこともあり、安定的な利用者数を確保することの難しさを感じています。

利用者の拡大に向けた取り組みも積極的に進めています。開設当初から、地域のケアマネジャーを対象に、医療保険によるデイケアであることを知っていただく広報活動に力を入れ、デイケアの施設、送迎車、食事(おやつ)の写真や、一日の流れが分かる資料を作成して配布したり、行事参加の様子を毎月報告したりしてきました。



広報活動の成果もあってか、一度利用者を紹介してくれたケアマネジャーの方が、介護保険サービスとの併用メリットを実感し、再度他の利用者を紹介してくれるケースが多くみられるようになりました。

また地域に対する広報活動のほかに、利用者ご家族を対象とする広報活動もはじめました。

利用者のデイケアでの様子をご家族に伝えるために、連絡ノートを活用しています。それに加え、デイケアでの活動の様子や、活動の際の利用者の表情を写真に撮り、毎月の体重測定や健康状態のチェックの結果、行事のお知らせなどとともに掲載した「デイケアだより」を個人ごとに発行し、お配りしています。

これからも、利用者の方々に喜んで来ていただけるデイケアづくりに、スタッフ全員で取り組んでいきたいと思えます。